令和元年度 事業計画

１ 基本方針

我が国の経済は好調といわれますが、１０月に実施される消費税の増税や国際的な貿易摩擦などの不安な要素もあります。一方、各方面で働き手不足がおきており、その解消のため国においては外国人労働者の拡充や生涯現役社会の実現による高齢者の活用を推進しています。

こうした中、シルバー人材センターは高齢者の多様なニーズに対応した就業機会を提供するとともに、生きがいや健康増進を通して地域社会における役割を果たしていく必要があります。

そのためにシルバー人材センターは、環境の変化に対応できる能力を高め、法令の遵守と会員の安全就業を徹底しながら、地域に必要な団体として、これからもお客様の信頼に応え、満足度を高めていかなければなりません。

当センターとしては、今年度も中長期計画に基づき、その柱である会員数の拡大、適正就業の推進と就業機会の確保、安全就業の徹底、組織体制の強化、財政基盤の強化、会員の研修と会員相互の交流の推進、広報、ボランティアの推進をさらに進めてまいります。

会員数の拡大については、近年の積極的な取り組みにより増加傾向にはありますが、センター活動を行う上で最も根本的な課題であることから、工夫をこらしながら、今年度も引き続き特に力を入れてまいります。

これからも、地域に根ざしたセンターとしての発展を目指し、この事業計画に基づき、目標達成に向けてシルバー人材センターの会員、役職員がそれぞれの役割を果たしながら、心をひとつにして取り組んでまいります。

２ 事業実施計画

(1) 会員数の拡大

① 苫小牧市の「広報とまこまい」などを活用した広報活動や、会員募集ポスターの公共施設への掲示など、市民に積極的に情報を提供し、新規会員の獲得のＰＲに努めます。

② インターネットを利用する高齢者が増加していることを踏まえ、シルバー事業のＰＲや会員拡大につながるよう、シルバーの活動や入会手続きなどについて適宜必要な情報をホームページ上で提供してまいります。

③ 確定申告期間中の労働福祉センターにおいて、役員・会員によるパンフレットの配布を連日行うとともに、職業安定所や年金事務所などの公共施設にパンフレットを置き入会促進と受注拡大に努めます。

④ 女性会員増強のため、セミナーを伴う女性限定入会説明会を開催するとともに、人手不足分野での一般市民向けの講習会等を開催し、会員の入会を推し進めます。

⑤ 入会説明会については場所を市内の西部地区や東部地区の住宅地での開催や、平日以外での開催をするなど、多くの人が参加しやすいようにしてまいります。

⑥ 市内の各戸に高齢者を対象としたチラシを配布し、入会を促進します。

⑦ 就業会員確保のため、一般市民や未就業会員などを対象とした、草取りなどの体験・実習型の研修を行います。

⑧　30年度導入したポイント制度については一定の成果を上げているが、さらにこれを推進し、会員数の拡大とともに受注の確保、組織体制の強化を図ります。

⑨　入会後１年未満の会員の退会を防止するため、講習会受講やサークル入会を奨励し、就業相談を実施するなど、会員数を確保するよう努めます。

⑩　高齢の会員が長くセンターに在籍できるための対策について研究を行います。

⑵ 適正就業の推進と就業機会の確保

ア　適正就業の推進

①　就業形態については法令遵守に努めるとともに、請負契約に適しない業務は派遣契約を行うなどの対応を行います。

②　就業機会の均等化を図るため、長期就業などを改善するとともに、未就業会員に対しては、簡易な業務の情報を提供するなどして就業率の向上を目指します。

③　事務所内及びホームページに就業情報を掲示し会員の希望する就業の促進に努めます。

イ　請負受注の確保と独自事業の推進

①　苫小牧市に対してはシルバー事業の理念、概要を説明し、高齢者に適した就業機会の拡大とともに、事業全般に対する支援を引き続き要請します。

②　就業開拓員を配置し、受注の拡大を図ります。

③　腐葉土、花づくり、椎茸のホダ木の独自事業について積極的に事業展開してまいります。また、錦岡地区の用地を有意義に活用して事業の充実を図るとともに、新たな独自事業について研究してまいります。

④　会員の就業の拡大を図るため、福祉や子育て部門など国の施策等で推奨する新たな就業について調査、研究を行います。

ウ　派遣事業等の充実

①　高齢者派遣事業については、道シ連と連携するとともに、就業機会の拡大につながるよう、取引先との連絡を密にし、業務拡大に向けて取り組みます。

②　職業紹介については推進してまいります。

エ　指定管理事業の充実

①　指定管理者となっている高齢者福祉センター、労働福祉センター、錦大沼公園、拓勇・日の出公園については、苫小牧市との協定を遵守して適正な管理運営を行うとともに、利用者サービスの向上に努めます。

②　錦大沼ちびっこワカサギ釣りチャレンジ、高齢者福祉センター高齢者セミナーなど、各施設において創意をこらした自主事業を実施し、利用者の満足度の向上と利用者の増加に努めます。

③　今年度で定められた受託期間を終える高齢者福祉センターについては、これまでの実績を生かし、利用者サービスを第一とした提案をすることで次期の受託ができるよう努めます。

④　指定管理事業の中で、就業相談の実施や、普及啓発につながる活動を引き続き実施してまいります。

⑶ 安全就業の徹底

①　安全・適正就業委員会が主体となって、安全対策の周知徹底を図るとともに安全就業の啓発強化を図るため「安全大会」を実施します。

② 安全・適正就業委員会は、就業現場の安全パトロールをはじめ「安全ニュース」の発行や「安全標語」の募集を行い、会員の安全意識の高揚を図り、安全作業の定着に努めます。

③ もし事故が発生した場合は、原因を究明し、就業会員を対象に、事例を基に危険予知訓練を行うなど安全意識を高め事故防止に努めます。

④ 会員が良好な体調を維持することが事故防止にもつながることから、定期的に健康診断を受けることを奨励するとともに「健康教室」を開催します。

⑤ 高年齢者の自動車運転による交通事故が社会的関心を集めていることから、自動車運転業務に従事する会員を対象として適性診断を実施します。

⑥ 剪定、機械除草業務における安全就業実施度自己チェックを実施します。

⑦ 高年齢会員及び特定の業務に従事する会員に対し健康診断書の提出を奨励します。

⑧ 事故を起こした会員に対するペナルティ制度の導入について調査・研究を行います。

⑨ 連合会で実施する派遣業務に従事する会員の安全・衛生を確保するため、衛生委員会を開催します。

(4) 組織体制の強化

① 事業の執行機関である理事会をはじめ、部会（総務部会、事業部会）や各委員会（安全・適正就業委員会、広報委員会）を開催し、事業の適正な執行と活性化を図ります。

また、シルバーまつりなどの行事実行委員会に多くの会員が参加することで事業の充実を図ります。

② 地区会議、地区長会議を開催し、事業に関する情報提供や意見交換、運営に対する要望や提案を話し合い、会員の自主的活動と交流を促進し参画意識や主体性の高揚に努めます。

③ 「女性会」は講習会の開催、普及啓蒙活動やボランティア活動を積極的に応援してまいります。

④ 事務局が入居している労働福祉センターは市の公共施設の統廃合の対象となっていることから、活動拠点としての事務局の確保について、引き続き苫小牧市と協議してまいります。

⑤ 事務局職員の能力向上のため必要な研修を行います。

⑥ 苫小牧市、公共職業安定所、道シ連、道内の各センターなど関係機関や諸団体と十分に連携し、事業の円滑な推進に努めます。

(5) 財政基盤の強化

① 国の補助制度の動向を注視するとともに、派遣事業の着実な進展により補助金の確保に努めます。

② 長期的な視点に立って、事業に必要な車両などの資産や備品の更新・充実など必要な整備を進めるとともに、経費の削減に努めます。

③ 会員に就業に見合った適正な収入と安定した事務費収入の確保を図るため、配分金については、２年ぶりの改定を行うとともに、今後は毎年改定される最低賃金や消費税率などの動向を的確に把握し適宜実施してまいります。

(6) 会員の研修と会員相互の交流の推進

① 会員の知識、技能、技術の向上を図り、就業職種と就業分野の拡大のため、センター主催の講習会を実施します。

② 高齢の顧客への対応の向上を図るため、接遇講習会を実施します。
③ 入会後３年を経過した会員を対象に、シルバー事業に対する認識を深めていただくため、理念や仕組みを詳細に説明する「３年度経過後講習会」を引き続き実施します。
④ 事業の円滑な運営に資するため、会員の現状と意向を把握する「会員継続調査」を実施します。
⑤ 「休憩室の開放」は理事を先頭に取り組むとともに、就業上の意見や相談を受けるための「会員の相談日」についても利用を促進するよう努めてまいります。
⑥ 会報「とまこまいシルバーだより」を年２回、会員などに配布し、事業の周知や情報伝達に努めます。
⑦ 会員が自主的に運営する会員の親睦交流を図る行事や、趣味・教養等のサークル活動を引き続き支援してまいります。

(7) 広報、ボランティアの推進

① 市の広報紙などに広告を掲載するとともに、事業実施の際の報道記事を活用して事業の啓蒙宣伝に努めます。
② 会員の技能発表の場を兼ねた「シルバーまつり」を開催するなど、地域との結びつきを強め、シルバー事業の普及啓発に努めます。
③ センターを支えてくれる地域への感謝を込めて実施しているボランティア活動は、港まつり会場の清掃や高齢者福祉センター周辺緑地の除草など引き続き行ってまいります。

3 事業の目標

令和元年度の目標は、前述の基本方針と実施計画に基づき次のとおりとします。

区　　分	平成 30 年度実績	令和元年度目標
1 会　員　数	683 人	717 人
2 受注額・就業延人員		
(1) 請　負		
① 受 注 額	234,390 千円	240,000 千円
② 就業延人員	53,376 人日	55,000 人日
(2) 派 遣 （参考）		
① 受 注 額	43,656 千円	43,800 千円
② 就業延人員	7,642 人日	7,600 人日
(3) 請負・派遣合計（参考）		
① 受 注 額	278,046 千円	283,800 千円
② 就業延人員	61,018 人日	62,600 人日
3 就　業　率		
(1) 請　負	80.2%	85.0%
(2) 請負・派遣合計（参考）	85.6%	90.0%

※ 派遣事業は、公益社団法人北海道シルバー人材センター連合会の事業です。